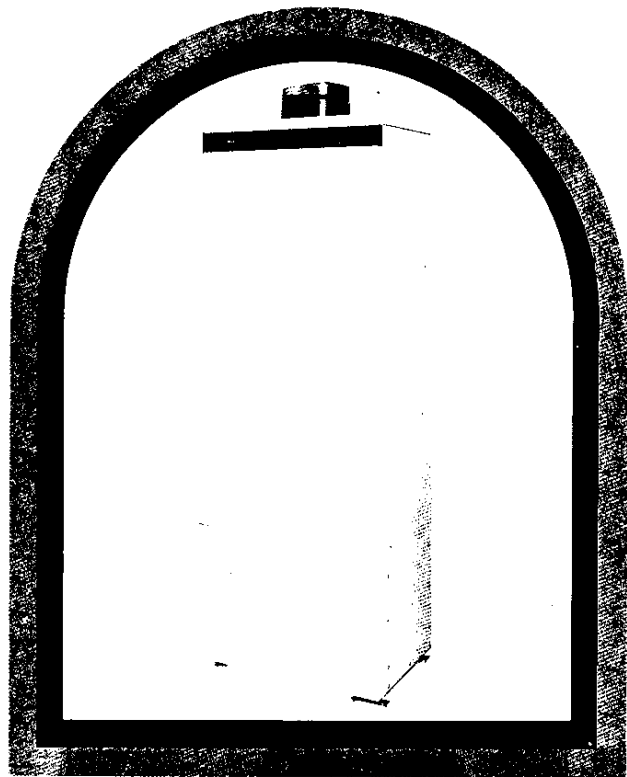
ガス給湯暖房機 シンプルシステム〈エックス グランド〉

取扱説明書 44-900型

保証書付

型式 GS-R552D

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせてください。

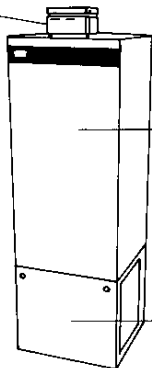
ごあいさつ

このたびは、大阪ガス給湯暖房シンプルシステム（エックスグランド）をお求めいただきありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただきまして、正しくご愛用ください。またこの取扱説明書は保証書といっしょに大切に保管してください。万一お使いになっているうちにわからないことがございましたら、今一度お読み返してください。

もくじ

各部の名称

44-900(屋外用)

給排気トップ
(RFトップ)

フロントパネル

扉

給湯たね火ランプ(赤色)
お湯を出すと点灯します。
使用後も15分だけ点灯します。

リセットスイッチ
器具が作動しなくなった時押してください。

暖房燃焼ランプ(赤色)
暖房のバーナが燃焼しているとき点灯します。

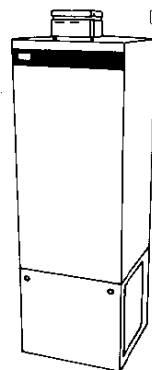
暖房スイッチ
暖房を使用するとき「入」にしてください。
マルチコントロールシステムのときは「切」のままでご使用ください。

たね火　リセット　暖房　切　入　44-900

特に注意していただきたいこと①

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

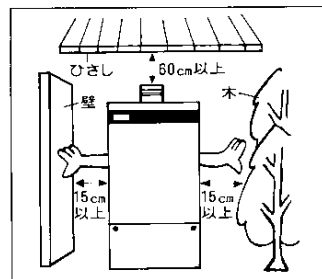
使用ガスについてのご注意

●器具（銘板）に表示してあるガス（ガスグループ）以外のガスでは使用しないでください。表示のガス種類とお宅のガスが一致していることをお確かめください。

使用電源についてのご注意

●器具(銘板)に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

使用場所についてのご注意

●壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

●屋外専用の熱源機です。屋内には絶対取り付けないでください。排気ガスが充満して危険です。

(1)用途についてのご注意

●本器具は給湯と暖房がおのおの独立してご使用いただけますが給湯側は給湯だけに、暖房側は暖房だけにご使用ください。
●給湯側器内に長時間たまっていた水は、飲用又は調理に用いないでください。

(2)ガス漏れ予防

●配管や熱源機との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。
●使用時の点火、消火はメーンコントローラの暖房燃焼ランプ、給湯たね火ランプで確認してください。
●長時間使用しないときは、必ず電源スイッチを切り、ガス元せんを閉めてください。

(3)火災予防

●器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
●給排気トップの上にタオル、ふきんなどをのせないでください。

(4)火傷のご注意

●使用中および使用直後は器具があつくなっておりますので手を触れないようにしてください。特に給排気トップ部は高温になっておりますので絶対に手を触れないでください。

(5)ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめてガス元せんを閉じてからお買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
●万一ガスが漏れたときは火をつけたり、電気器具のスイッチ操作は絶対にしないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。

(6)異常時の処置

●万一異常燃焼を起したときや、緊急の場合にはあわてず湯を止め、暖房を停止し、ガス元せんを閉じて、お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

(7)凍結についてのご注意

●冬期には8～9ページに記す方法で凍結の防止をおこなってください。

(8)停電のとき

●停電の場合、器具は自動的に運転を停止し、通電されれば再び運転を始めます。給湯使用時は水になります。給湯をご使用の場合（特に浴槽にお湯を入れている場合）はすぐに湯せんを閉めてください。

(9)断水のとき

●給湯はご使用になれませんが、暖房はそのままご使用いただけます。

(10)ガスの供給が止ったとき

●自動的にガス通路が遮断されます。ガスの供給が再開されてもそのままでは運転しません。一旦メーンコントローラのリセットスイッチを押してください。

(11)補助用具使用について

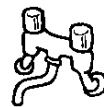
●標準付属品、別売付属品以外の補助用具は使用しないでください。

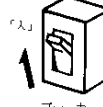
使用手順①

点火前の準備と確認

1.給水元せんを全開にしてください。

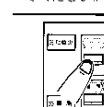
器具の下部

2.給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めてください。

お湯の使用場所

3.器具用のブレーカを「入」にしてください。

屋内の分電盤

4.ガス元せんを全開にしてください。

器具の下部

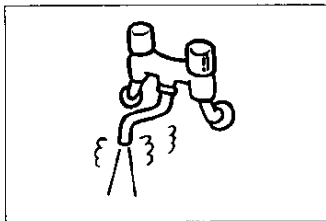
5.メーンコントローラのリセットスイッチを押してください。

メーンコントローラ

使用手順②

給湯の使い方

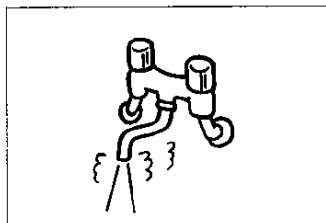
点 火

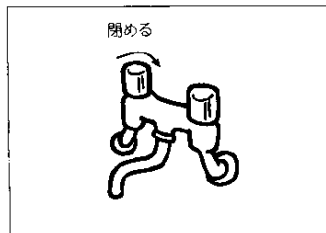
❶給湯せんを開けます

給湯せんを開くと器具は自動的に点火し湯がでます。
（給湯たね火ランプ(赤色)が点灯します。）

❷湯温および湯量の調節

給湯せんで湯温、湯量を調節してください。

（ご注意）
器具は60℃の湯が出るよう調節しております。湯温を変更されたい場合、お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

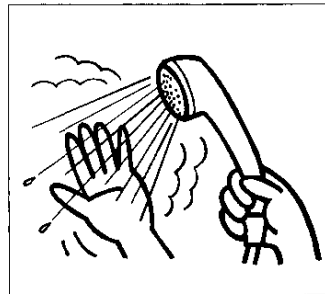
消 火

❶給湯せんを閉めます

●お湯が止まり、メーンバーナーが消火します。
●メーンバーナーの消火後、約15分間は、パイロットバーナーのみ燃焼し、排気ファンは運転状態となっており給湯たね火ランプも点灯しています。これは、再使用時の点火をより早くするためのものです。

使用手順③

（約15分経過後、自動的にパイロットバーナーも消火し、排気ファンの運転が止まります。）
●次にお使いになるときは、給湯せんを開けるだけでメーンバーナーに着火してお湯が出てきます。

❷長時間使用しない場合

●ガス元せんを閉めてください。

〔注〕
●給湯せんで湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。
●シャワーをご使用のときは、手で湯温を確認してからお使いください。
●2ヵ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中は同時使用にご注意ください。

暖房の使い方

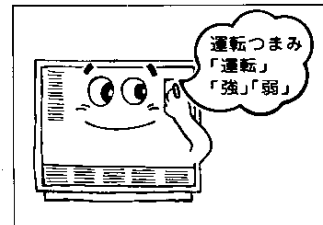
❶暖房運転の準備と確認

●暖房配管、元バルブが全開になっていることを確認してください。

点 火

❶放熱器のスイッチを入れる。

●暖房する部屋の放熱器のスイッチを入れてください。器具は自動的に点火し暖房を開始します。

（ご注意）
●メーンコントローラの暖房スイッチは「切」のままでご使用ください。
●メーンバーナ燃焼中は暖房燃焼ランプ(赤色)が点灯します。

使用手順④

❷室温の調節

●放熱器の切替つまみまたはルームサーモスタットで行なってください。

（ご注意）

●放熱器により操作方法が異なります。放熱器の取扱説明書をご覧ください。

❸消火

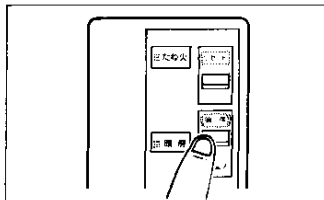
●放熱器のスイッチを切ってください。器具は自動的に運転を停止します。

※マルチコントロールシステムになっていない場合。

点 火

❶メーンコントローラの暖房スイッチを「入」にする。

●メーンコントローラの暖房スイッチを「入」にしてください。

●器具は自動的に点火し暖房燃焼ランプ（赤色）が点灯します。

❷放熱器のスイッチを入れる。

●暖房する部屋の放熱器のスイッチを入れてください。

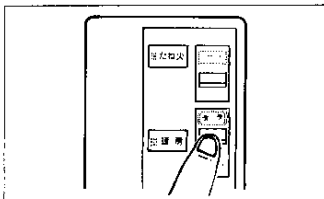
❸室温の調節

●放熱器の切替つまみまたはルームサーモスタットで行なってください。

❹消火

●メーンコントローラの暖房スイッチを「切」にしてください。

●放熱器のスイッチを切ってください。

凍結防止について①（暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。）

凍結防止について

●冬期は急な寒気により器具内の水が凍って器具をいためることがあります。

●この器具は給湯用と暖房用の熱交換器があります。従いまして凍結防止操作は給湯側と暖房側の両方について行なってください。

凍結防止方法

給 湯

❶凍結防止ヒーターによる方法

●この器具には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的に器具内を保温する凍結防止ヒーターを組み込んでいます。

●凍結防止ヒーターは分電盤のブレーカが「切」になっていると作動しません。絶対にブレーカを「切」にしないでください。

●凍結防止ヒーターは、運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。

（ご注意）

●外気温が極端に低く（無風時で−10℃以下）になりますと、この凍結防止ヒーターだけでは凍結する場合があります。通常の場合は②による方法、長期不在等の場合は③による方法を行なってください。

❷給湯せんから水を流す方法

●お風呂場の給湯せんを開け、１分間に約200cc（牛乳びん１本ぐらい）の水を浴そうに流し込んでください。

●流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をご確認ください。

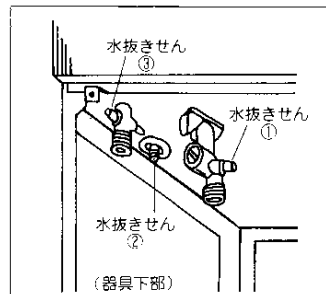
❸水抜きによる方法

●下記の手順で給湯側熱交換器の水抜きしてください。

①ガス元せんを閉めてください。

②給水元せんを閉めてください。

③すべての給湯せんを開いてください。

④水抜きせん①②③をゆるめて水を抜いてください。

凍結防止について②

●水抜き後の再使用方法

①水抜きせん①②③を元どうり閉じてください。

②給水元せんを開きすべての給湯せんより水の出ることを確認してください。

③すべての給湯せんを閉じ、器具、配管等から水漏れのないことを確認してください。

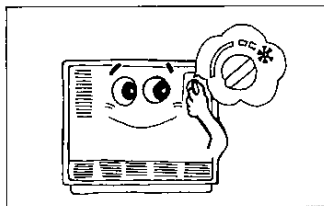
④ガス元せんを開きご使用ください。

暖 房

●冬期外気温が0℃以下になりますと熱源機や温水回路内の水が凍結し、破損することがあります。
配管や熱源機が破損しますと、水漏れなどで多大な被害を引き起こしますので、必ず不凍液を注入してください。暖房水に不凍液を使用することで凍結が防止できます。

●不凍液の濃度が下がってきますと、凍結防止の効果が弱くなってきますので、厳冬期には以下の操作をお願いします。

(1)暖房スイッチを「切」にしてください。

(2)各部屋のすべてのファンコンベクターの操作つまみを「❄」にしてください。
（詳細については、ファンコンベクターの「取扱説明書」に従ってください。）

〔注〕※分電盤のブレーカは「切」にしないでください。気温が低いときは、自動的にポンプが回り凍結を防止します。
※自動凍結防止運転が必要な季節には絶対にガスの元せんを閉めないでください。

●不凍液について

●不凍液は大阪ガス指定のものをご使用ください。指定以外の不凍液はシステムに悪影響を与える場合がありますのでご使用にならないでください。

●不凍液濃度は地域、設置場所、気温などにより異なります。めやすとしてはファンコンベクター１台の場合は２缶です。（１缶は１ℓです。）

●適正濃度を保つため１年に一度は暖房水全体を入れかえ不凍液を新たに注入する必要があります。不明な点はもよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社までご連絡ください。

凍結防止について③

凍結したとき

●凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。凍結したままお使いになりますと器具に異常が生じる場合があります。解凍するまでご使用をひかえてください。

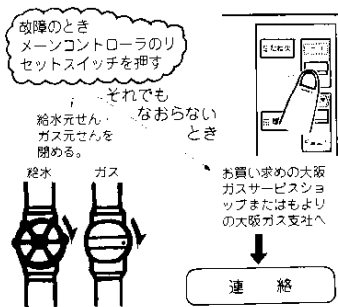
●凍結が解けた後、水漏れがないのをお確かめのうえご使用ください。

●器具や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

※保証期間内であっても費用を頂きます。

安全装置が作動したときの処置方法①

処置について

器具が運転できないとき、使用中に停止したときはメーンコントローラのリセットスイッチを押してください。
それでも使用できないときは13ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。また、次の安全装置が働いた場合には、ガス元せん、給水元せんを閉めてからお求めの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

給湯パイロット安全装置

パイロットバーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まり、給湯たね火ランプ（赤色）が消えます。
このような場合は、メーンコントローラのリセットスイッチを押し再点火してください。

空だき防止装置（給湯）

給湯回路の通水量が2ℓ/分以下のときは流水スイッチの働きにより器具は運転しません。

空だき防止装置(暖房)

暖房回路の水が減りますと水位スイッチが作動して自動的に運転が止まり空だきを防止します。
本器具は自動給水装置を内蔵しておりますので正常の場合は自動的に暖房水を補給します。

空だき安全装置(給湯・暖房)

万一、メーンバーナーの火が消えずに、湯温が異常に上昇したときはガスを自動的にストップします。

過熱防止装置

万一、器具が異常に温度上昇したときはガスを自動的にストップします。

電流ヒューズ

過電流が流れますと、自動的に運転を停止します。

過圧逃し弁(給湯)

器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

停電時安全装置

使用中に停電になるとガスを自動的にストップし、運転が止まります。

ファン回転検知装置

ファンが所定の回転数以上で回らなくなったとき、検知装置が働いて、自動的にガスを止め、運転が止まります。

凍結予防ヒーター(給湯)

給湯回路の凍結を防止するために、低温になると働きます。詳しくは、8ページをお読みください。

暖房バーナー安全装置

暖房メーンバーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

[illegible]入れ

点検・手入れの前には、必ず給水元せんとガス元せんを閉め、電源プラグを抜いて、器具が冷えてから行なってください。

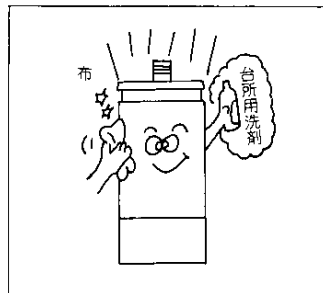
[illegible]

●器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんか。
（ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください。）
●運転中に、器具から異常音が聞こえませんか。
●器具の外観に異常は見られませんか。
●器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

[illegible]入れ

●器具の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふきとってください。
シンナー・ベンジンなどではふかないでください。

(ご注意)

●メーンコントローラの内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。

保守契約制度

保守契約制度(有料)に加入していただくと不凍液の入れ替え、定期点検を専門家が責任をもって行います。この保守契約につきましては、お買い求めの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのまま お使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

■故障・異常の見分け方と処置方法について（○=主原因、△=原因）

原因 ＼ 現象		寒い日に排気口から湯気が出る	給湯せんを開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	お湯を止めても給湯たね火ランプが消えない	暖房燃焼ランプが点灯しない	暖房がきかない、またはききがおそい	処置方法	お客さま	大阪ガスサービスショップ・大阪ガス支社
ブレーカが「入」になっていない		異常ではありません	○					異常ではありません。15分間点灯しその後消えます			ブレーカを「入」にする	*	
ガス元せんの開き不十分			△	△	○		△		△	△	ガス元せんを全開にする	*	
給湯せんの開けすぎ				△	○		△				給湯せんを絞る	*	
配管内に空気が残っている			△	△					△		点火操作を繰り返す	*	*
ガス圧が適切でない	低い		△	△	△		△		△	△	他の器具も同様の場合は点検を依頼する（他に原因がないとき）		*
	高い			△									*
給湯元せんの開き不十分			○	△		○	△				給湯せんをいったん閉めてから給湯元せんを全開にする	*	
水圧が適切でない	低い		○	△			△				点検を依頼する（他に原因がないとき）		*
	高い						△						
水フィルターの詰まり			△	△		△	△				詰まり除去または依頼する		*
断水している			○								給湯使用をいったん中止する	*	
凍結している			△								解凍するまで使用を中止する	*	
バーナー炎口の詰まり 空気吸込口の詰まり			△	△	△				△	△	点検を依頼する		*
熱交換器の目詰まり				△	△					△	点検を依頼する		*
湯温調節が適切でない					○	△	○				使用方法（湯温調節）を参照する	*	
給湯せんの開き不足			△	△		△	△				給湯せんを全開にする	*	
ノズルの詰まり			△						△		点検を依頼する（他に原因がないとき）		*
安全装置が作動した			△	△					△	△	点検を依頼する（度々作動する場合）		*
流水スイッチの故障			△	△	△	△					点検・修理・部品交換を依頼する（他に原因がないとき）		*
電気部品の故障			△	△	△	△				△	点検を依頼する		*
ポンプが回転しない										○	点検を依頼する		*
水フィルターまたはポンプのごみ詰まり											点検を依頼する		*
暖房補給装置の故障										△	点検を依頼する	*	
燃焼用ファンが回転しない			△								点検を依頼する		*

項目		仕様
機種名		瞬間式給湯暖房機
型式名		GS-R552D
品名		44-900
種類	給湯方式	先止式
	暖房方式	温水循環方式
	給排気方式	強制給排気方式
設置方式		屋外据置型
点火方式		電子イグナイタによる連続放電点火式
着火方式	給湯	ダイレクト着火（パイロットバーナー経由）
	暖房	ダイレクト着火
外形寸法	本体	高さ1620mm×幅600mm×奥行420mm
	メーンコントローラ	高さ160mm×幅90mm×奥行28mm
重量	本体	90kg（運転時約98kg）
	メーンコントローラ	0.2kg
水圧	使用水圧	1kg/cm²以上
	作動水圧	0.2kg/cm²
最低作動水量	給湯	1段目 2ℓ/min以上、2段目6ℓ/min以上
	暖房	0ℓ/分以上（締切り使用可能）
ポンプ機外揚程		4.0mH_2O（11ℓ/minのとき）
温度制御方式	給湯	電子コントロール方式による比例制御
	暖房	電子コントロール方式による制御
温度調節	給湯	60℃一定（50℃、55℃、65℃、70℃、の切替端子付）
	暖房	OFF 89℃ ON 63℃
給湯能力切替方式		1台運転と2台運転の自動切替＋ガス比例制御
操作		遠隔操作
メーンコントローラ表示ランプ		給湯たね火ランプ（赤） 暖房燃焼ランプ（赤）
安全装置		給湯パイロット安全装置・暖房バーナー安全装置 空だき防止装置・空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ 過圧逃し弁・停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結防止ヒーター 流水スイッチ・誘導雷保護装置
消費電力		最大220W（60Hz）
		凍結防止ヒーター作動時：上記プラス96W
接続	ガス	PT1Bオネジ
	給水・給湯	給水・給湯配管用20A継手付属（PF¾）
	暖房	15A継手付属（PF¾）
	オーバーフロー	PT½Bオネジ
	電気	本体電源 AC100V 3芯（うち1芯アース用）
		メーンコントローラ～本体 DC24V 6芯
付属品		メーンコントローラ（一式）・締結部品一式、配管用継手類一式

仕様表②

品名 44-900

使用ガスグループ		型式名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)				標準出力(kcal/h)	
			全ガス消費量	給湯ガス消費量		暖房ガス消費量	能力最大時	
				最大	最小		給湯	暖房
都市ガス	6A	GS-R552D	55,000	47,600	6,800	16,400	39,000(26号)	13,500
	6C	GS-R552D	55,000	47,600	6,800	16,400	39,000(26号)	13,500
	13A	GS-R552D	55,000	47,600	6,800	16,400	39,000(26号)	13,500
LPガス		GS-R552D	4.19 kg/h	3.57 kg/h	0.57 kg/h	1.23 kg/h	35,100 (23.2号)	12,100

●給湯能力の(　)内は、水温+25℃上昇に換算した号数です。

長期間使用しない場合

必ずガス元せん・給水元せんを閉め、電源プラグを抜いて、下記の処置を行なってください。

給湯側

8ページの(●水抜きによる方法)を参照のうえ、水抜きを行なってください。

暖房側

お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。調査のうえ必要とあれば不凍液を入れ替えさせていただきます。

アフターサービスのお申し込み①

サービス(点検・修理)を依頼される前に

●13ページの「故障、異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度確認してください。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけになるときは、次のことをお知らせください。
(1)品名　(2)型式名(銘板表示のもの)　(3)現象(できるだけ詳しく)　(4)道順

●ご使用開始後、年に一度は点検をおすすめいたします。(長時間使用されずにいた場合も同様です)(有料)

転居される場合

ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります

●ガスの種類が異る地域へ転居される場合には部品の交換や調整が必要となりますので、お買い求めの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

保証書について

この器具には保証書がついています

●保証書はこの取扱説明書と同じポリ袋の中に入っております。

●保証書をお受取りになるときに販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

●保証書に記載してあるように器具の販売後、器具に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに無料修理いたします。(詳しくは保証書をご覧ください)

〔ご注意〕
保証書を紛失されますと、無料修理期間でありましても、有料修理となりますのでご注意ください。

アフターサービスのお申し込み②

補修用性能部品の最低保有期間について

- ●無料修理期間経過後の修理についても、大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
- ●当社は当製品製造中止後7年を基準に補修用性能部品を調達したうえ、修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。
- ●性能部品とはその製品の性能を維持するために必要な部品です。

連絡先

- ●裏表紙の所在地および電話番号一覧表を参照してください。

おねがい

ガスくさいときはお部屋のガス元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

名称	所在地	電話
本社ガスビル サービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06(202)2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06(652)0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06(301)1251
堺支社	〒590 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569 高槻市藤の里町39番6号	☎高槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26)3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62)1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576)5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1－1－1	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85)2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津29－1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3)2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒堀680の1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12番11号	☎彦根 0749(22)3131
(長浜営業所	〒526 長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2)7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社